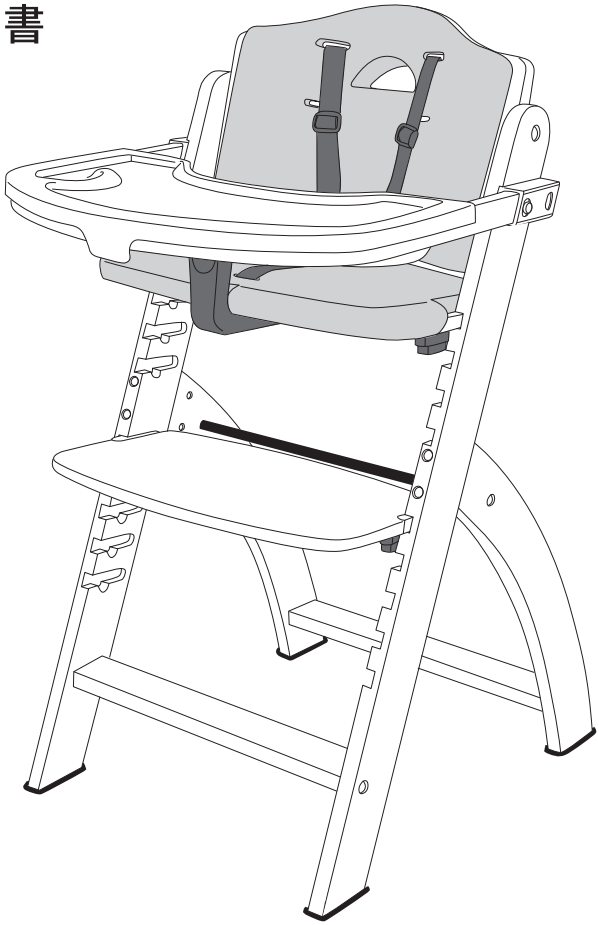
Abiie

Beyond Junior

ビヨンドジュニア ハイチェア

取扱説明書



動画を見て
かんたん組立て

●この度はビヨンドジュニア ハイチェアをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上正しくお使いください。組み立てる前に部品がすべてそろっているか確認してください。

●この取扱説明書は大切に保管してください。

安全に正しくお使いいただくために

下記の注意事項を必ず守ってお使いください。
誤った使い方をするとケガや破損の恐れがございます。

ご使用上の注意

- 座板および足置き板の耐荷重は90kgです。また本製品は1人用です。2人以上で使用しないでください。
- トレイの耐荷重は18kgです。無理に体重をかけますと破損の原因となります。
- 背もたれやテーブル、クロッチガードに過度な荷重をかけないでください。無理な荷重は安全性を損なう場合があります。
- 足置き板は足置きおよび座面としての使用を目的としています。お子様がイスに座る際に足置き板を踏み台にしないようご注意ください。同様に、座板・足置き板にお子様を絶対に立たせないでください。
- 絶対に座面を踏み台として使用しないでください。転倒するおそれがあります。
- 小さなお子様が使用される場合は保護者様の目の届く範囲でご使用いただき、十分にご注意ください。
- 本製品の近くで暖房器具は使用しないでください。パーツの変形や火災の原因となるおそれがあります。
- 本製品は水平で硬い床の上でご使用ください。転倒し、ケガや故障・破損の原因となります。
- 直射日光のあたる場所でのご使用は避けてください。変形・変色の原因となります。
- 湿気の多い場所や屋外では使用しないでください。腐食・変色の原因となります。
- フローリングや畳の上でご使用になる場合、脚の接地面が傷つく場合がありますのでご注意ください。
- テーブルカバーは電子レンジにかけないでください。
- 本製品は屋外向けではありません。
- 本製品の上に重たいものを載せないでください。転倒のおそれがあります。
- 本製品にアクセサリー等を取り付けないでください。

お手入れについて

【木製部分のお手入れ】

- 普段のお手入れは乾拭きで十分ですが、汚れが落ちない場合は中性洗剤など低刺激なものを水に混ぜたものをタオルに含ませ、硬く絞ったもので優しくふき取って下さい。
- 木製のため、消毒液の過度な吹きかけや水を多く含んだタオルなどで頻繁にお手入れしますと、ふやけて剥がれてしまう場合がありますのでご注意ください。

【木製部分以外のお手入れ】

- テーブルカバー・クッション・ハーネスは水洗いが可能です。水道水ですすぎ水気をふき取り、完全に乾いた状態でご使用ください。いずれも研磨剤は使用不可。

【テーブルカバー】

- テーブルカバーは台所洗剤などをご使用いただけます。スポンジのご使用も可能ですがキズをつけない素材のものをご使用ください。キズがつくと清潔に保てなくなります。食洗機の使用も可能です。

【背もたれ・座面クッション】

- クッションは中性洗剤などのご使用も可能ですが、こすりすぎはひび割れの原因になります。
- 熱に弱い材質のため、変形のおそれがありますので天日干しは絶対にしないでください。屋内でも直射日光や高温になる場所を避けてご使用ください。

【ハーネス】

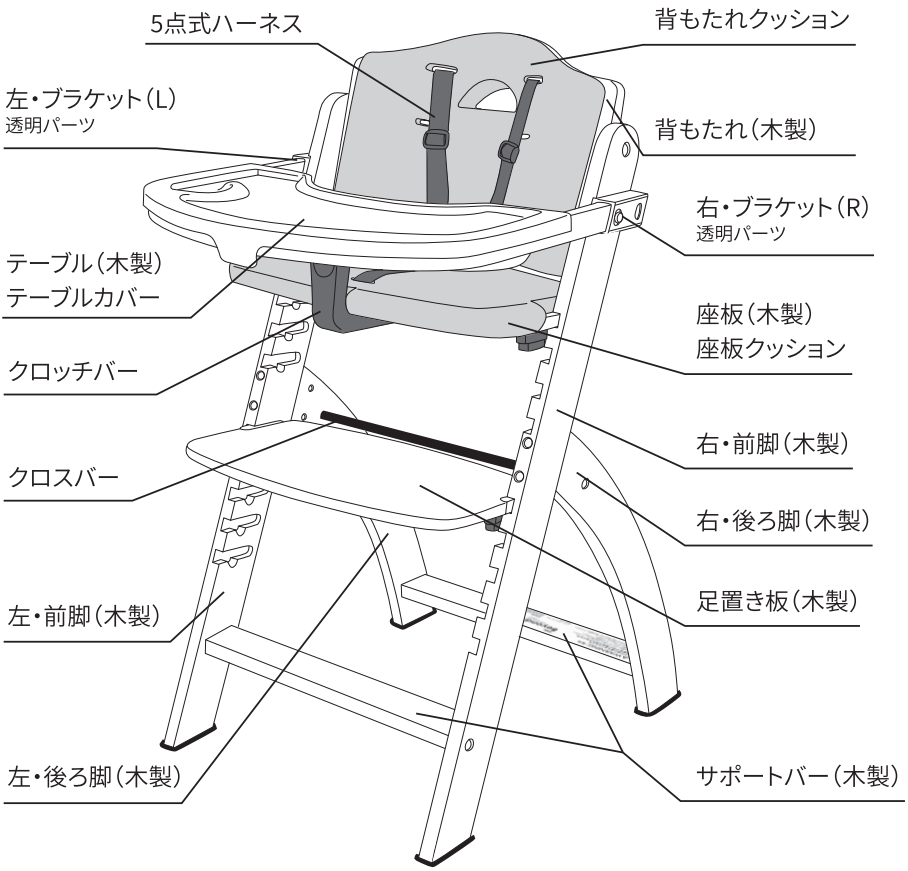
- 汚れが気になる場合は、中性洗剤を使用してやさしくもみ洗いしてください。
- 洗い替えが必要な場合はAbiie公式オンラインショップにて販売しています。ぜひご利用ください。

各部の名称

※右・左は椅子の座面に向かって右・左です

左

右

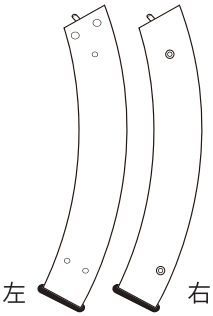


ビヨンドジュニア
組み立て動画

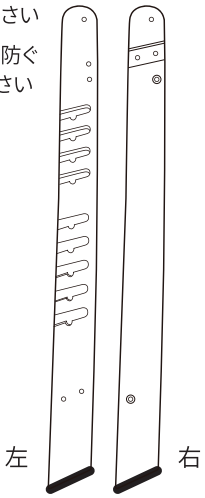
セット内容と名称

※組立て前に不足がないかご確認ください

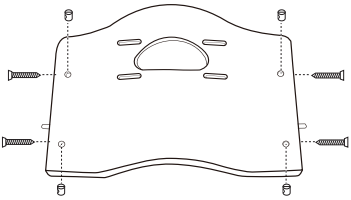
※パーツに装着済のボルト類は紛失を防ぐため必要になるまで外さないでください



後ろ脚（木製）

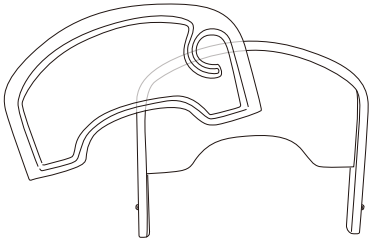


前 脚（木製）



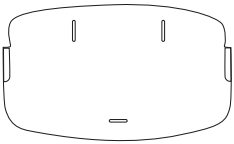
背もたれ（木製）

長ボルト×4本 たるナット×4個 装着済

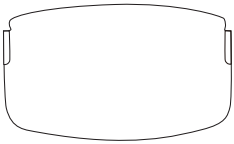


テーブル（木製）・テーブルカバー

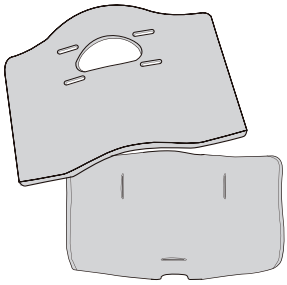
カバーはテーブルに装着済



座 板（木製）

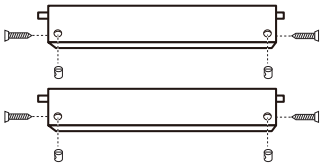


足置き板（木製）



クッションセット

（背もたれ用・座面用）



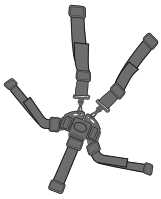
サポートバー（木製）×2

長ボルト×4 たるナット×4 装着済

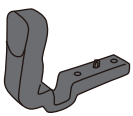
クロスバー（金属製）

クロスバー用ボルト×2装着済

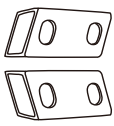
ビニール袋内



ハーネス



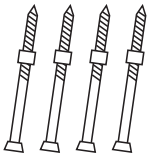
クロッチバー



ブラケット

（左右分2個）

小ビニール内



後部脚ボルト+ナット×4

前脚・後ろ脚接続用

ブラケット用ボルト×4

クロッチバー用ボルト×2

六角レンチ

組み立て方　※組立てを始める前にご注意ください

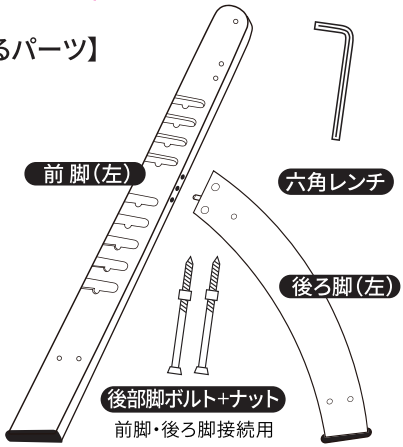
●組立ての際は手袋などで手を保護してください。指などを挟み込むケガの防止になります。

●組立てを行う前に平らな場所に十分なスペースを確保し、床面のキズを防ぐためにシート類を敷いてから組立てを開始してください。各部のボルト・ナットは一旦仮留めをし、組立てが全て完了した時点で最後に改めてしっかりと締めなおしてください。

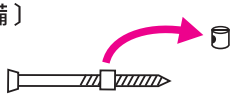
※ボルトを締める際に電動工具をご使用の場合は、締めすぎによるネジや製品の破損に十分ご注意ください。付属の六角レンチの使用をおすすめいたします。

1. サイドフレーム組み立て

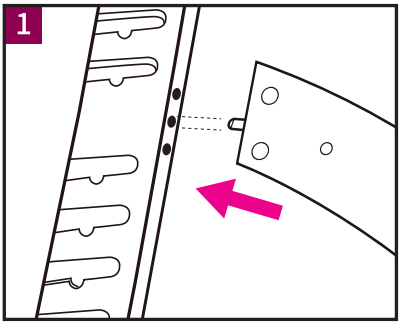
【用意するパーツ】



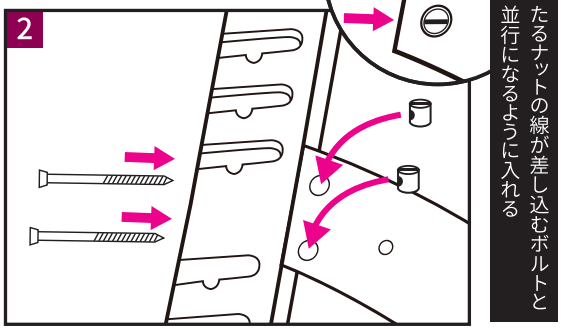
〔準備〕



① たるナットを回して取る
② 前脚と後ろ脚を水平面に置く



長脚の真ん中の穴に
後ろ脚の突起部分を差し込む



後部脚ボルト・たるナットを図のように差し込み
六角レンチでボルトを回して締めつける(仮留め程度)

3 同じように、右脚も **1** **2** の手順に従って組み立てておく

注意

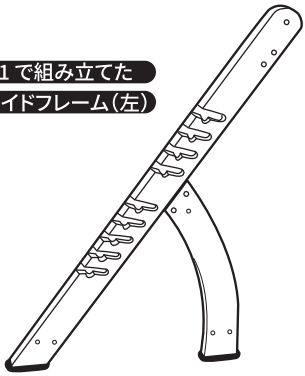
仮留めの際に、2本の脚が並行になっているか必ず確認してください。

取付の際、脚が倒れたり回転して手や指を挟む恐れがあります。ゆっくりと十分注意しながら慎重に取り付けてください。必ず近くに小さなお子様がいないことを確認して行ってください。

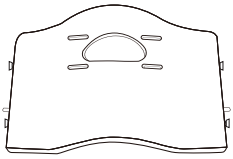
2. 背もたれ・サポートバー・クロスバーの取り付け

【用意するパーツ】

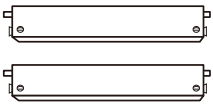
※背もたれ用ボルトとサポートバー用ボルトは共通です



1で組み立てた
サイドフレーム(左)



背もたれ(木製)
長ボルト×4 たるナット×4 装着済



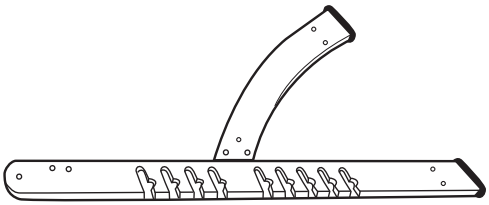
サポートバー(木製)×2
長ボルト×4 たるナット×4 装着済

クロスバー(金属製)
クロスバー用ボルト×2 装着済

六角レンチ
小ビニール内

〔準備〕

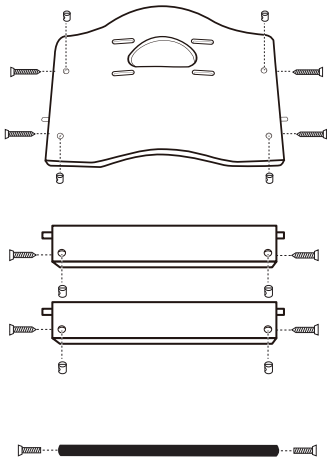
① 1で組み立てたサイドフレーム(左)
を水平面に置く



② 背もたれ・サポートバー(2本)
クロスバーに取り付け済みの
ボルト類をはずす

※ 背もたれ・サポートバー(2本)
のボルト・たるナットは
同じものです。(計8セット)

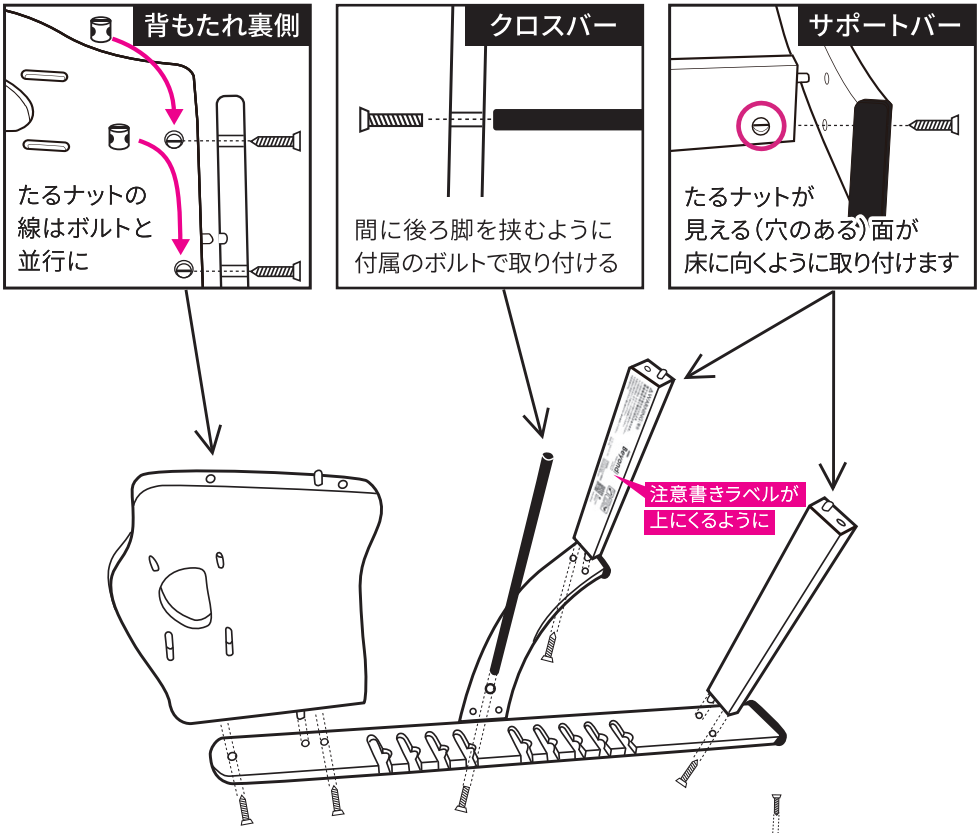
同じボルト・たるナット
(計8セット)



※クロスバー用ボルト(2本)は
先がとがっていません

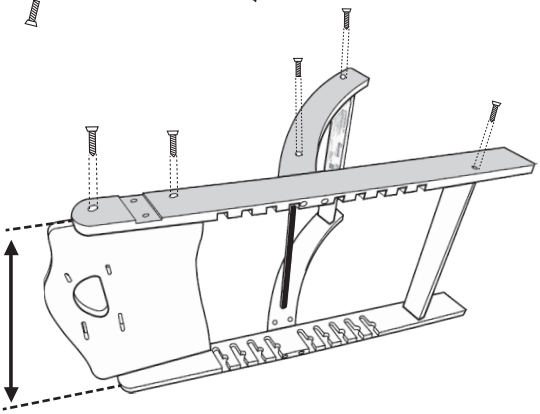
ビヨンドジュニア
組み立て動画

1 図のように取り付けます



2 サイドフレーム(左)の取り付けが
完了(仮止め状態)したら
サイドフレーム(右)を左と同様に
取付ける

※左右のサイドフレームが
この時点できちんと
並行になっているかを
確認してください。



注意

この時点では、ボルトはすべて仮留め状態にしておいてください

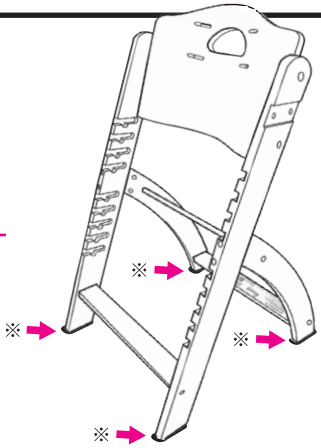
この状態でボルトを強く締め付けてしまうと、ガタつきの原因になる可能性がございます。
ここではサイドフレームが互いにきちんと並行になっていることをご確認ください。(※1)

3. ボルトをしっかり固定する

図のように水平な場所に本体を立て、
下記チェック項目を確認してください

- ✓ 全ての脚（黒い部分※）が水平面に接触しているか
- ✓ 左右の脚がきちんと並行になっているか
- ✓ 手で揺らしてみて、この時点でガタつきがないか

チェックして問題がない場合は、全てのボルトを
仮止め状態からしっかり締め付けて固定します



⚠注意

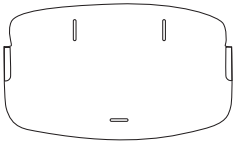
ガタつく場合は下記の手順にてご確認をお願いします。

1.水平な場所でチェックしているか確認してください
2.木製パーツの穴の部分に異物が入り込んでいないか確認してください
3.再度解体し、P5ー1サイドフレームの組立て の工程でボルトをしっかりと締め付けてしまってから、P7-2・3 の工程で仮止めし、図のように水平面に立て、下記の手順に従ってください

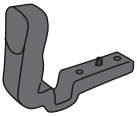
①全ての木製パーツが互いに並行になっているか、隙間や隔たりがないかをご確認ください
②4本の脚の黒い部分（※2）がきちんと床に接触しているかご確認ください
③最後に全てのボルトをしっかりと締め付けてください

4. クロッチバー（股拘束具）の取り付け

【用意するパーツ】



座板（木製）



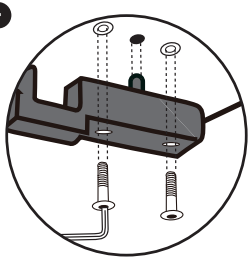
クロッチバー

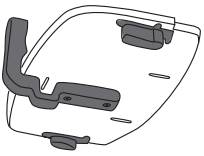
クロッチバー用ボルト×2

六角レンチ

小ビニール内

クロッチバーの突起部分を座面裏側の
穴に差し込み、座板に取り付けたら
クロッチバー用ボルトを2本挿入し
座板裏側にしっかりと締め付けてください。

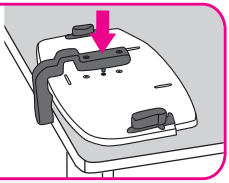




POINT

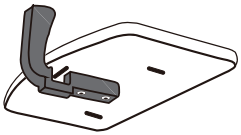
座板にクロッチバーを差し込みにくい場合

クロッチバーの突起は穴よりも少し大きく作られているため差し込むのに力が必要です。図のようにテーブルなどを利用し、座板を逆に置いて押し込むと力が加えやすく、差し込みやすくなります。

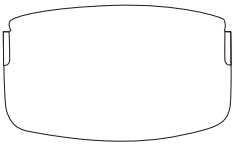


5. 座板（シート）と足置き板（フットレスト）の取り付け

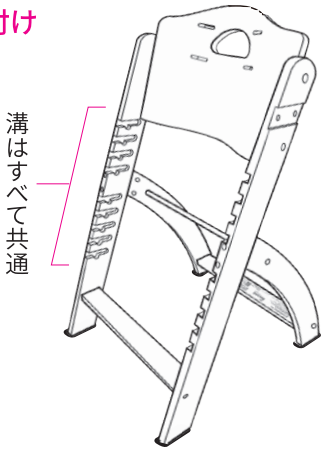
【用意するパーツ】



座板（クロッチバー取付済）

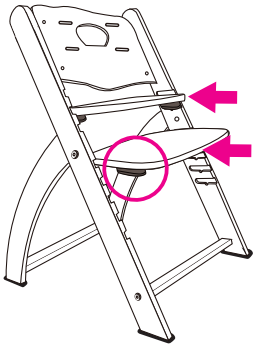


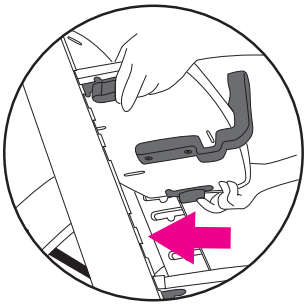
足置き板（木製）



座板と足置き板をそれぞれ溝に差し込みます。

※位置調整は完成後に行いますが、P12の表を参考にしてください





座板・足置き板の両側の裏にある
2つのボタンを指で押しながら
溝にスライドさせます。

2つのロックボタンから手を離し、
カチッと音がしロックされるまで
スライドさせてください。

※ロックボタンを深く押した状態で差し込んだ場合、カチッと音がしない場合もございます
その場合はセット後に軽く前後左右に動かし、ロックされていることを確認してください

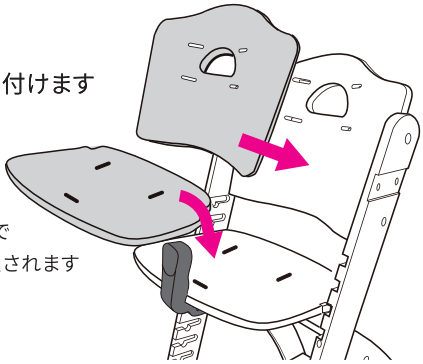
※座板・足置き板は手で揺らすと上下に軽く動きますが、構造上問題ございません。
木の膨張・収縮などに耐えられるよう、多少遊びのある仕様となっています。
下から押すと多少動きますが、上からの力では動くことはないため問題なくお使いいただけます。

6. 背もたれ・座板クッションの取り付け

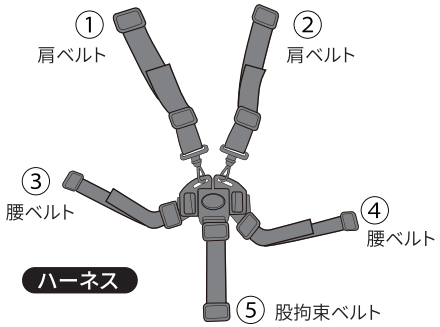
背もたれ・座板に、クッションを形に沿って取り付けます

※背もたれのは本体の穴の部分にクッションの
突起している部分を差し込み固定します。

※座面クッションは座面の上に乗せるようなイメージで
取り付けます。ハーネスをつけることでしっかり固定されます



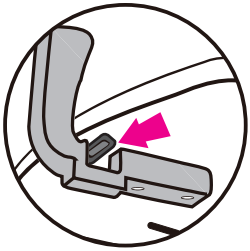
7. 背もたれ・座板にハーネスを取り付ける



1 肩ベルト①②は背もたれのスロット（穴）にバックルを挿入します。お子様の肩により近い位置のスロットに取り付けてください。

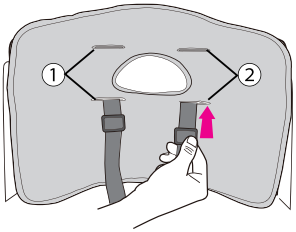
2 腰ベルト③④は座面の左右のスロット、股拘束ベルト⑤は座面の前のスロットに取り付けます。

3 いずれもバックルが裏側で完全にロックされた状態かを確認ください（図参照）

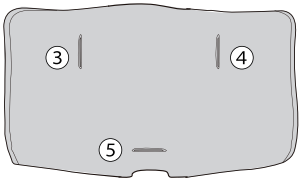


股拘束ベルトのバックルはクロッチバーを取り付けた状態でも付け外し可能です

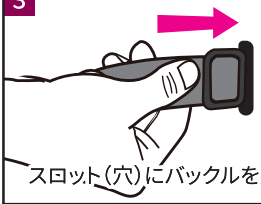
1



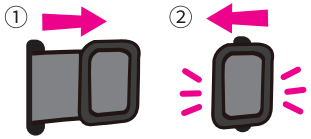
2



3



スロット（穴）にバックルを差し込む

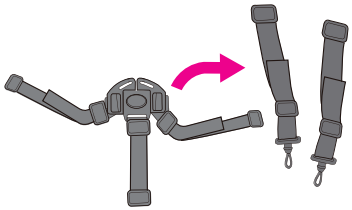


①裏側からバックル部分を完全に引き出し、②ハーネスを引っ張っても戻らなければロック完了です

POINT

差し込んだバックルを後ろから引き出しにくい場合

特に背もたれ＋背もたれ用クッションは厚みがあるのでバックルを通しにくくなっています。
その場合は、一度クッションに通してから背もたれに通すと、裏側から取り出しやすくなります。



5点式ハーネスは肩ストラップを外せば3点式として使用できます。

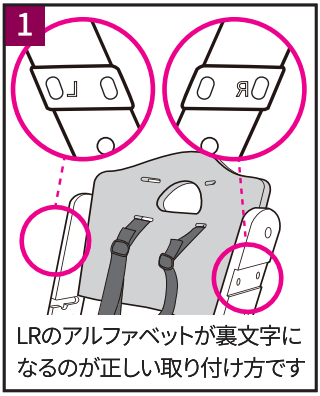
※3歳ごろまでは5点式ハーネスの使用を推奨。
※お子様の成長によるため窮屈な場合は3点式にしてください。
※ハーネスの詳しい調節方法は → P13

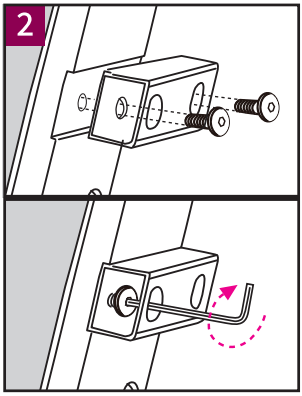
8. ブラケット・食事用テーブルの取付け

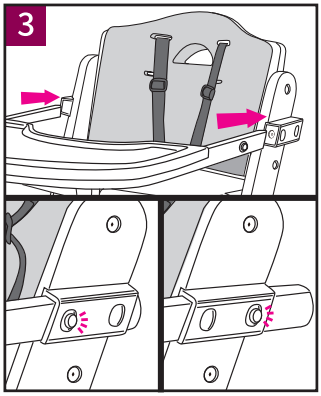
【用意するパーツ】

ブラケット（左右分2個）　六角レンチ　ブラケット用ボルト×4

小ビニール内







1 ブラケットは、楕円形の穴が外側になるように取付けます。
（ブラケットに表示のある「L」「R」はイスの正面から見て右が「R」、左が「L」です）

2 ブラケットの楕円形の穴にブラケット用ボルトを通して六角レンチで固定します。（図参照）

3 ブラケット取付け後、テーブルを正面から並行に差し込み、両サイドのボタンを押しながらブラケットに差し込むとカチッと音がなり固定されます。
テーブルの奥行は2段階ございます。正常に取付けられるかをご確認ください。

⚠注意

テーブルが正しくロックされていない状態で使用しないでください

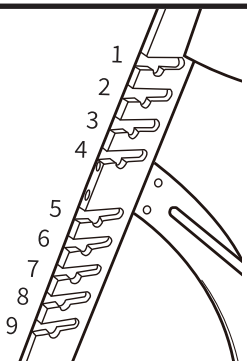
ボタン部分がしっかりと穴に入っていない状態でのご使用はテーブルの落下・または落下によるケガや事故の恐れがあります。絶対に固定されていない状態でのご使用は避けてください。

テーブルとブラケットには過度の力をかけないでください

テーブルの耐荷重は18kgとなっておりますが、お子様が無理に体重をかけますとテーブルおよびブラケットが破損する場合がございます。ケガや事故の恐れがあり危険ですので、お子様が体重をかけすぎないよう、必ず目の届く範囲でのご使用をお願いいたします。

以上でハイチェアの組立ては終了です。

座板・足置き板 設置方法



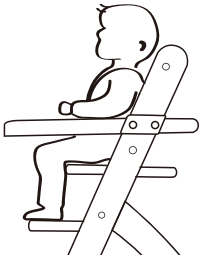
ハイチェア「溝」の位置表　対象月齢：6か月（腰すわり）ごろ

月齢	座板位置	足置き板位置
6ケ月～3歳ごろ	※溝　1	溝4～9
3歳ごろ～12歳ごろ	溝2～4	溝5～9

※溝1はいちばん上を示す

ダイニングチェア「溝」の位置表

12歳 以上	溝4～9 で足置き板を座板として使用します。



【ご注意】

座板と足置き板の位置は、同じ月齢・年齢でもお子様の体型・成長によりそれぞれ異なります。実際に座らせてみてから調節してください。成長にあわせて足がしっかり足置き板につく状態がベストですが、赤ちゃんの時はまだ足が届かない場合がございます。

POINT

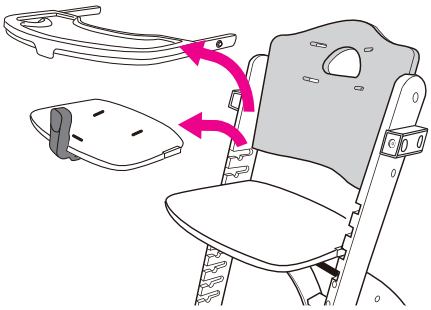
足置き板の位置を変更しても足が届かない場合は…

体がまだ小さいうちは、お尻～太ももの間が短く膝を完全に曲げることができず足が前に伸びています。膝が完全に曲がるようにするには、赤ちゃんをもっと前に座らせる必要があります。
（前傾姿勢になるとより膝が曲がりやすくなります）

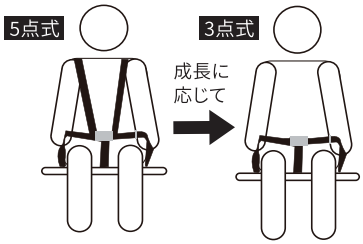
ただし、右の赤ちゃんのようにまだ体の小さいうちは「前傾姿勢」と「足が足置き板についた状態」を保てない場合も…今は足が届かなくても、成長とともに自然とひざ下が下がるようになるので、その頃になったら足のつく位置に調節してあげてください。

ダイニングチェアとして使用する場合

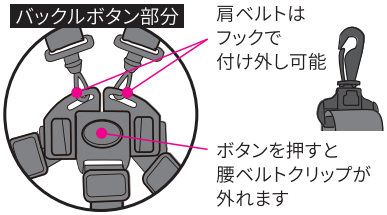
座板とテーブルを取り外し、お子様の手の届かない安全な場所に保管します。足置き板を適切な溝（上記位置表参照）に差し込み、足置き板の黒いボタンがしっかり溝に固定されているかどうかを確認してください。足置き板が座面となり、大人も使用できるダイニングチェアとしてご使用いただけます。



ハーネスの調節方法



- 5点式ハーネスは、肩ベルトを取り外すことで3点式ハーネスとして使用できます。
  お子様の成長に合わせてご利用ください。
  （3歳以上は3点ハーネス推奨）
- バックルボタンがお子様の腰の位置に来るように股ベルトの長さを調節してください。
- お子様を座らせた際のバックルの留め方
  ①股ベルトがお子様の脚の間にあることを確認する
  ②左右の腰ベルトをバックルに差し込む
  ③両方の肩ベルトをバックルに固定する
  ④必要に応じて長さを調整する



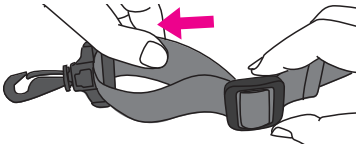
POINT

お子様がちゃんと座っていられるような調整を

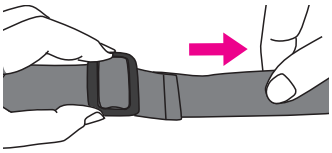
ハーネスはお子様が簡単に抜け出せるほどゆるい調整ですと落下のおそれがあり危険です。
お子様が動きやすい範囲で座っていられるぐらいの調整をお願いします。

ハーネスベルトの長さ調整方法

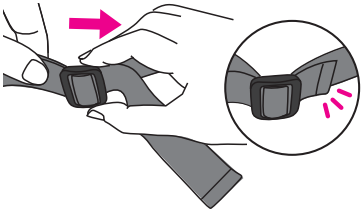
①お届け時、5本のハーネスベルトは長めに設定されています



②ベルトを短くしたい場合はバックルをつまんで固定し、もう片方の手で二重になっている奥側のベルトを引っ張ると全体の長さが短くなります



③ベルトを長くしたい場合はバックルをつまんで固定し、もう片方の手で一重になっているベルトを引っ張ると全体の長さが長くなります



④バックルから長く余ったベルトがジャマになる場合は二重になっているベルトを二本まとめてしっかり持って固定し、バックルを引くと、全体の長さは変えずに余りの部分を短くできます

ビヨンドジュニアハイチェアについて

ハイチェア本体は、ヨーロッパの洗練されたブナ材で作られ、有害物質などを含有せずASTMG404-14及びH.R.4040に準拠。コーティング剤や樹脂など細かな部分も赤ちゃんがなめたりしても害のない材質を使用しており、安心してお使いいただけます。

保証期間・および保証について

ハイチェアは購入日から3年間保証、クッションは購入日から1年間保証されます。

- 上記保証が適用されるには、必ず同封の保証書裏面に説明のある保証登録をWeb上で行っていただく必要がございます。
- 保証書とお買い上げいただいた販売店のレシート（ネットの場合はメールやスクリーンショット画面）を大切に保管してください。
- 修理・交換・リコール等が発生した場合、必ずご購入の証明となるものが必要になります。
- 正規販売店より購入され、材料施工の欠陥が見つかった場合、保証期間中は無料にて修理・交換いたします。
- 中古で購入されたもの、譲り受けたもの、アウトレット品は保証対象外になります。
- この商品は細心の注意のもとに製造されておりますが、万が一商品に欠陥があった場合はただちに使用を中止し下記までご連絡ください。

生産物賠償責任保険について

当社は「ビヨンドジュニア ハイチェア」を安心してお使いいただけるように、品質については細心の配慮をいたしております。この取扱説明書に従い正しく取り付け、正しい方法でお使いいただいたにもかかわらず、製品の欠陥によりケガを負ったり財物が破損した場合は、その損害を補償するために保険会社と「生産物賠償責任保険」の契約を結んでおります。事故が発生した場合はただちに当社までご連絡ください。

※この制度は傷害などの身体的な損害と財物の破損についてのみ補償するもので、製品の品質について保証するものではありません。

●お問合せ・不具合についてはこちらまでお問合せください

info@abiie.jp

メール送信はこちら
（一部スマホ非対応）

不具合部分の写真を添付してくださいますと、非常にスムーズな対応が可能です。
下記の必要事項をメールにてお送りください。内容を確認次第、対応させていただきます。

① ご購入店舗名 ② お名前・ご住所（送り先） ③ 検品印名 ④ 不具合画像を添付

※ご自由にお使いください。ご記入いただくとサポートを受ける際に便利です。

ご購入者名

ご購入店舗名

ご購入日

カラー

検品者名

レシート・明細など貼り付け欄

Abiie

Beyond Junior

www.abiie.jp

info@abiie.jp

〈輸入発売元・正規日本販売代理店〉

ウェステックスジャパン有限会社 〒910-1212 福井県吉田郡永平寺町東古市7-11-5 TEL.0776-50-7414

www.westex-japan.com